

第46回技術士全国大会（四国・徳島） 参加報告

鳥取県支部

支部長 伊藤 徹

総合技術監理 建設



徳島県徳島市で開催された第46回技術士全国大会（四国・徳島）へ参加し、大会の概要と若干の感想について報告する。

開催日が10月5日から8日までとなり、テクニカルツアーを除いた10月5日と6日に参加した。

今年は8月以降に台風が発生が多く、9月の初めには台風15号が千葉県に上陸し、大規模な停電と強風被害をもたらした。9月の終わりには台風18号が朝鮮半島側への経路を取り、10月の初めには台風19号が本土に接近し、四国方面への上陸も懸念されていた。幸いにも東日本方面へとそれたものの、10月7日には猛烈な勢力となり、12日には首都圏を中心として公共交通機関の計画運休が発生した。12日から13日にかけては関東から東北の東日本一帯に豪雨をもたらした、多くの河川の氾濫や浸水被害をもたらした。

全国大会の開催期間中は、徳島での天候は台風18号の影響も少なく大きく崩れることもなく、交通機関もほぼ正常に動いており、無事に開催されたが、私は10月4日に徳島へ向かうJRが運行するのかが気がなっていた。

徳島の駅前をよく整備されており、整備された地方都市という顔を示していた。4日は関連行事の計画は取り込まれていないが、翌日からの関連行事に参加するために前日入りとした。各会場は徒歩で楽に動ける範囲にあり、駅からも近くて便利であった。

大会テーマ：

「新たな世代（とき）へ、技術士の挑戦」
～四国・阿波からのメッセージ～

主催：公益社団法人日本技術士会

期間：2019年10月5日（土）～

10月8日（火）

会場：あわぎんホール（徳島県徳島市）

大会日程：大会参加者約600名

日程	時間	行事名	内容	
10月5日（土）	12:00～	受付開始	あわぎんホール（徳島県郷土文化会館） （一部行事は阿波観光ホテル） ※受付にて「関連行事」の会場等案内	
	13:00～17:00 ※各行事毎に設定	関連行事	全国防災連絡会議、男女共同参画推進連絡会議、 技術者倫理情報交換会、併設機械部会 など ※化学部会、金属部会合同見学会のみ10/7、 各詳細は別途記載	
	12:00～17:00	パネル展示	協賛企業等パネル展示	
	18:00～20:00	ウェルカムパーティー	阿波観光ホテル5F（クリスタルバレス） 歓迎セミナー（予約）/開会挨拶～来賓紹介 アトラクション（阿波踊り）など	
10月6日（日）	8:30～	受付開始	あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）	
	9:30～12:30 ※第2分科会のみ 9:00～	分科会 ※第4分科会のみ 阿波観光ホテル※	第1分科会（新技術）第2分科会（防災） 第3分科会（男女共同参画）第4分科会（青年）	
	12:30～13:30	昼食		
	13:30～15:00	大会式典	あわぎんホール4F大会議室 （歓迎挨拶、祝辞、来賓祝辞、分科会報告、大会宣言）	
	15:15～16:45	記念講演	あわぎんホール4F大会議室 『スポーツを通じた地域活性化』 二宮清純氏（スポーツジャーナリスト）	
	9:00～15:00	パネル展示	協賛企業等パネル展示	
	8:40～16:50	パートナーズツアー 大塚国際美術館と境門の 歴史を堪能	藍住町歴史館（藍の館）、大塚国際美術館、雲山 寺（一番礼所）、境門市ドイツ館、大谷焼窯元など	
	18:00～20:00	交流パーティー	JRホテルクレメント徳島4Fクレメントホール オープニングセミナー（第九会場）/開会挨拶 ～来賓紹介～乾杯～アトラクション（阿波踊り） ～次回大会（愛知）紹介など	
	10月7日（月）	8:30～16:50 （日帰り）	テクニカルツアーA ■大歩危舟下りと秘境の 祖谷散策	徳島駅→祖谷かずら橋→大歩危観光観光遊覧船→ ラビス大歩危（妖怪屋敷・石の博物館）など
		9:00～16:00 （日帰り）	テクニカルツアーB ■阿波文化海峽	徳島駅→藍住町歴史館（藍の館）→阿波十郎兵衛 屋敷→ひょうたん高クルーズ→眉山ロープワ ェイ→阿波踊り会館など
10月7日（月） 10月8日（火）	8:30～16:55 9:15～17:10 （1泊2日）	テクニカルツアーC ■秘境 祖谷温泉の旅	福寿園池・松浦酒造工員学→阿波十郎兵衛 屋敷→だつこの町並み→祖谷のかずら橋→大歩危 観光遊覧船→大塚寺（ハチ八番礼所）など	



写真-1 眉山から望む徳島市街地

10月5日（土）、朝から青空の見えるものの、やや冷え込んだ空気が感じられた。

午前中は時間があつたため、徳島市のランドマークともいふべき眉山に上がり、阿波踊り会館も見学した。多くの方が眉山に上られ、天候も快適な状態であつた。午後からは阿波銀ホールにて全国防災連絡会議に参加した。各地の顔なじみの方々が多く参加されていた。

第15回全国防災連絡会議2019（徳島）のテーマは、「**地域防災力向上に向けて、技術士の役割**」～災害に備える実践的な取り組み～であり、基調講演と各地域本部からの報告、パネルディスカッションで構成され、約80名の参加者があつた。写真-2は「地方都市における中規模災害と復興まちづくり—現場の専門家と専門家ネットワークによる復興支援—」と題して基調講演をされた徳島大学大学院准教授田口太郎氏の様子である。



写真-2 田口太郎准教授の講演

18時からは阿波観光ホテルにおいてウェルカムパーティが開催され、300名以上の方が参加された立食パーティであつた。阿波踊りによるアトラクション、四国各地からの日本酒も取りそろえられて提供された。参加者が多くて、私は食べ物にはありつけず、日本酒の近辺で歓談して過ごしていた。阿波踊りのご当地だけあつて、踊り子連の迫力には圧倒され、また、小さな子供たちの巧みな踊りには、ただただ感心させられるばかりであつた。



写真-3 アトラクションの阿波踊り連

10月6日（日）はやや雲の多い天気であつた。8時過ぎに会場のあわぎんホールへ向かおうとしたところ、強めの雨が降りだしてきた。徒歩で行けるほどの雨であつたが、到着するころには雨も上がり、その後は曇りがちの天気であつた。



写真-4 ポスター・パネル展示

私は第2分科会【防災】「**地域防災における技術士の役割**」～激増する自然災害に立ち向かうために～に参加した。

13時30分からの大会式典・記念講演会には約500名の参加者があり、スポーツジャーナリストの二宮清純氏の記念講演会は一般参加者が含まれ、多くの方で会場が埋め尽くされていた。

二宮清純氏のお話は、スポーツ産業こそが地域活性化にもたらす役割が大きいこと、そのためには地域リーダーが必要であり、そのリーダーに求められる資質は、決意と使命

(mission)、情熱 (passion)、行動力 (action) であることを、J リーグ創設の川渕チェアマンとの交流を通して学んだことを話された。今各地で進められている、アリーナ構想は、ワンストップで地域を創生できる構想であることも示された。



写真-5 大会式典の様子



写真-6 二宮清純氏の講演

18時からはJR徳島駅に隣接するJRホテルクレメント徳島で開催された。阿波踊りによるアトラクション、四国各地の日本酒の提供があり、地域本部ごとに円卓が用意された立食形式で行われた。

次回第47回は、2020年10月2日～4日にかけて愛知県名古屋市で開催されることになっており、中部本部の方々が壇上へ上がり愛知大会への参加呼びかけを行った。

富山、横浜、山口、福島に続き全国大会への参加であったが、全国各地からの参加者とお会いすることができ楽しいひと時を過ごすことができた。



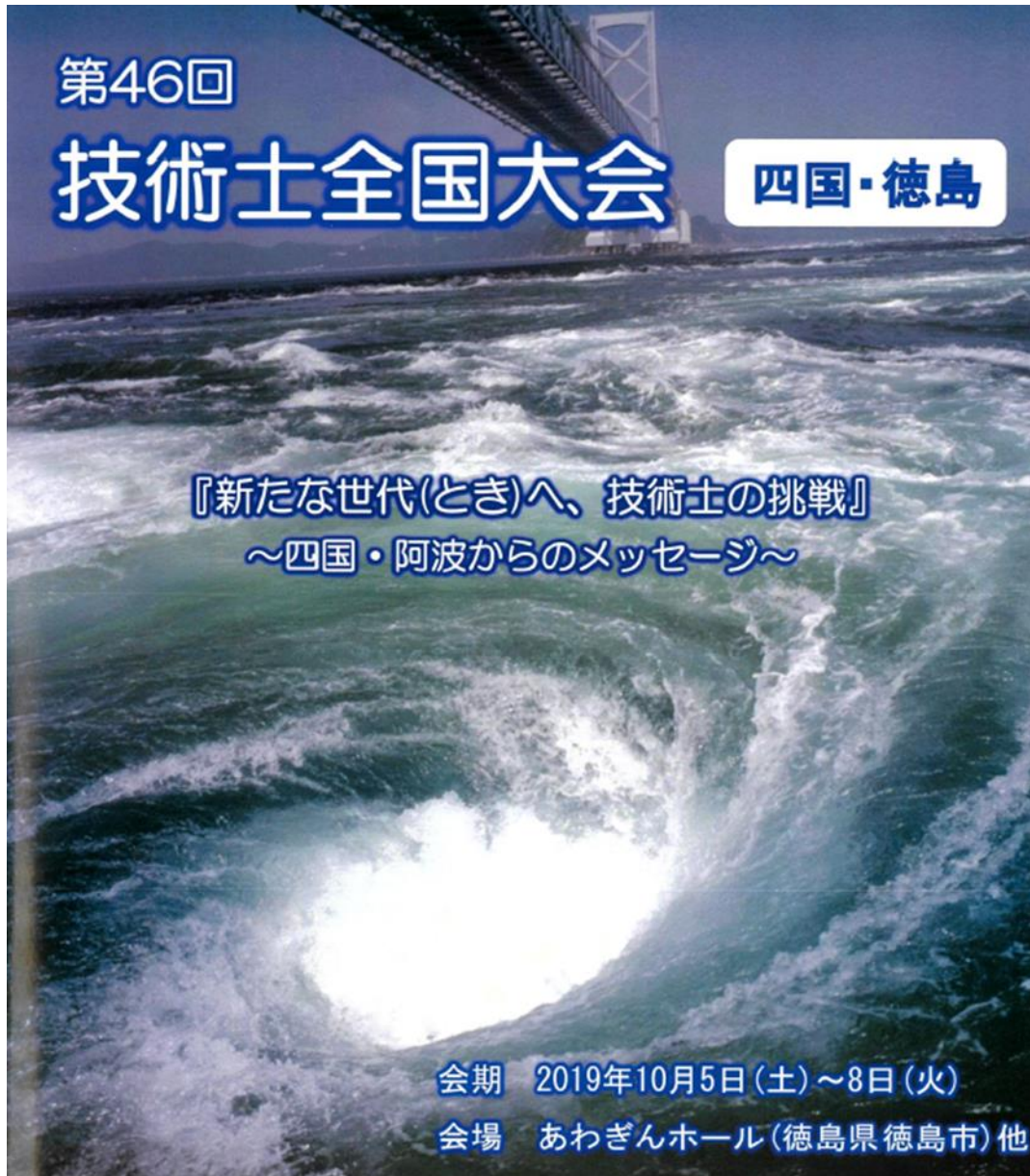
写真-7 中部本部によるプレゼンテーション

技術士全国大会は、7年後には中国本部での開催となるが、鳥取県以外の4県ではすでに開催されており、次回は必ず鳥取県での開催となる予定である。全国大会は、1日目の部門会議とウェルカムパーティー、2日目の分科会、式典、記念講演、交流パーティー、パートナーズツアー、3,4日目のテクニカルツアーの構成となっており、2004年に鳥取県米子市で開催した日韓技術士会議とほぼ同様である。あの時の実績を考え、鳥取県で開催することは全く問題がないと考えているが、多くの技術士会会員の協力が求められる。

鳥取県内の技術士の多くの方が、今後開催される技術士全国大会へ参加され、全国の技術士の方たちとの交流を深めていかれることを切望する。

限られた地域や世界観の中で完結してしまう技術士とにならないことを切に希望する。そして、技術士は自らが技術士としての名前を売ってこそ、技術士としての価値がある資格なのだと思えてほしいと願う。

「あなたのお仕事はなんですか」と聞かれたときに、「〇〇会社に勤めています」ではなく、「技術士です。〇〇会社に勤めています。」と誇りを持って答えるようにしていただきたい。



参加記念として藍染ハンカチと陶器の箸置き
が配られた